

Subject : **Japanese**

Production of Courseware
e- Content for Post Graduate Courses



Paper No. **02** : **日本語学 (Japanese Linguistics)**

Module **20** : **副詞 (Adverb)**



ज्ञान-विज्ञान विमुक्तये



Development Team

Principal Investigator: **Prof. Anita Khanna**
Jawaharlal Nehru University, New Delhi

Paper Coordinator: **Prof. Prashant Pardeshi**
The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

Content Writer: **Dr. Yasunari Imamura**
The National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)


Content Reviewer: **Prof. Shingo Imai**
University of Tsukuba

Japanese

Japanese Linguistics

副詞 (Adverb)

Description of Module	
Subject Name	Japanese
Paper Name	日本語学 (Japanese Linguistics)
Module Title	副詞 (Adverb)
Module ID	JPN-P02-M20
Quadrant 1	E-Text

 **Pathshala**
पाठशाला
A Gateway to All Post Graduate Courses

Japanese

Japanese Linguistics

副詞 (Adverb)

ふくし
副詞

もくてき しゅるい ふくし ぎおんご ぎたいご
 目的：このモジュールでは、さまざまな種類の副詞とオノマトペ（擬音語・擬態語）
かいせつ
 について解説する。

ふくし
1. 副詞とは

けいようし めいし しゅうしょく ご たい れい りょうり ふくし どうし
 形容詞が名詞を修飾する語であるのに対し（例：おいしい料理），副詞は動詞・
けいようし けいようし けいようし ふくし おも しゅうしょく ご ふくし けいようし
 形容詞（イ形容詞・ナ形容詞）・ほかの副詞を主に修飾する語である。副詞は形容詞
ちが かつよう ふくし じぶつ ようたい じょうたい あらわ じょうたいふくし
 と違って活用しない。副詞は、①事物の様態や状態を表す状態副詞（ゆっくり，ワ
じょうたい せいしつ ていど あらわ ていどふくし
 ーワー，きらきら），②状態や性質の程度を表す程度副詞（とても，もっと，すこ
じゅつご ちんじゅつ はな て か て はんだん ぎもん すいりよう いし たいど
 し），③述語の陳述（話し手・書き手の判断や疑問，推量，意志などの態度）のしか
こおう もち こおうふくし けっ
 たに呼応（agree）して用いられる呼応副詞（決して～ない，たとえ～ても，もし～た
ちんじゅつふくし じょじゅつふくし の かた ふくし ぶんるい
 ら，など。陳述副詞，叙述副詞，述べ方の副詞ともいう）などに分類される。

2. 状態副詞

じょうたいふくし
 状態副詞（情態副詞，様態副詞ともいう）は，「電車にさっと飛び乗る」「太陽がゆっくり（と）沈む」のように，動作や変化のしかた（様態），あるいは出来事がどのようなかを表す副詞である。また，「さっき食べたばかりだ」のように時を表すこともある。状態副詞は主に動詞を修飾する。

その他の例：

- ・メガネを新しくしたら，はっきり（と）見えるようになった。
- ・すぐ（に）来てちょうだい。
- ・しばらくお待ちください。

ものおと どうぶつ な ごえ あらわ ご ぎおんご ぎせいご よ
 物音や動物の鳴き声などをまねて表した語を擬音語（または擬声語）と呼ぶ。また，
じぶつ じょうたい み かん おんせい あらわ ご ぎたいご よ ぎおんご ぎたいご
 事物の状態や身ぶりなどの感じを音声で表した語を擬態語と呼ぶ。擬音語も擬態語も
ふくし いっしゅ じょうたいふくし ぶんるい
 副詞の一種であり，状態副詞に分類される。

ぎおんご れい
擬音語の例：

ドアをドンドン叩く。 雷がゴロゴロ鳴っている。 雨がザーザー降る。
 いぬ ほ せみ な
 犬がワンワン吠える。 蝉がミンミン鳴いている。

ぎたいご れい
擬態語の例：

あか わら かみなり ひか
 赤ちゃんがにっこり（と）笑う。 雷がぴかりと光った。
 こわ さむ ふる あめ ふ
 怖くて／寒くてぶるぶる震える。 雨がしとしと降る。
 ねぶそく あたま さかな かわ およ
 寝不足で頭がふらふら／ふわふわする。 魚が川をすいすい泳いでいる。

ぎおんご か おお ぎたいご か おお
 擬音語はカタカナで書くことが多く、擬態語はひらがなで書くことが多い。

3. 程度副詞

ていどふくし じょうたい せいしつ ていど りょう ひんど あらわ けいようし けいようし けいようし
 程度副詞は状態や性質の**程度**、**量**や**頻度**を表す。形容詞（イ形容詞・ナ形容詞）

しゅうしょく ていど あらわ
 を修飾するときには程度を表す。

ていどふくし れい
程度副詞の例：

- しけん ごうかく
・試験に合格して、とてもうれしい。
- きのう こうきゆう しょくじ
・昨日はかなり高級なレストランで食事をした。

りょう ひんど あらわ ばあい どうし しゅうしょく
量や頻度を表す場合は動詞を修飾する。

- おいしいからもっと食べたい。
- わたし ご はな
・私はフランス語がちょっと話せる。
- かぞく がいしょく
・ときどき家族で外食する。

ひんど あらわ ふくし い か だいひょうてき あ
頻度を表す副詞には以下のものがある（代表的なものを挙げる）。

ひんど たか
頻度が高い←

ひんど ひく
→頻度が低い

いつも	たいてい	よく	ときどき	たまに	めったに	まったく
つね 常に			しばしば			ぜんぜん 全然

このうち、「めったに」「まったく」「全然」は否定表現（～ない、～ません）と

いっしょ つか つぎ こおうふくし かか
一緒に使われ、次の「呼応副詞」にも関わる。

- わたし ふだん くるま の でんしゃ の の
 ・私は普段、車に乗っているので、めったに電車に乗らない。(=乗ることもあるが、
 ひじょう すく
 非常に少ない)
- かれ にく た
 ・彼はベジタリアンなので、肉はまったく食べません。
- さいきん えいが み えいがかん ぜんぜん い
 ・最近ではDVDやテレビで映画が見られるので、映画館に全然行かない。

4. 呼応副詞

こおう ふくし
 呼応副詞は述語の陳述的意味（断定、否定、假定、推量など）を補足、強調、
 めいかく か ふくし じゅつご もち
 または明確化する副詞で、述語とセットにして用いる。

- かのじょ ぜったい く だんてい
 ・彼女は絶対来る。(断定)
- こんかい けっ ゆる ひてい
 ・今回のことは決して許さない。(否定)
- なに けっ きんし
 ・何があっても決してあきらめるな。(禁止)
- にほん おな じけん お かてい
 ・もし、日本で同じような事件が起きたら...。(假定)
- にち じかん べんきょう らいげつ しけん ま あ じょうほ
 ・たとえ1日10時間勉強しても、来月の試験には間に合わない。(譲歩)
- なかがわくん く すいりょう
 ・たぶん／おそらく中川君も来るだろう。(推量)
- せんせい い い ひてい すいりょう
 ・まさか先生がそんなことは言うまい／言わないだろう。(否定推量)

- ・かなり^{つか}疲れているのだろう。まるで^し死んでいるかのように^ね寝ている。(たとえ)
- ・どうか／どうぞ／ぜひ一度^{いちどあそ}遊びに^き来て^{いら}ください。(依頼)

5. オノマトペ

「状態副詞」で述べた擬音語と擬態語をまとめてオノマトペ (onomatopoeia) と呼ぶ。オノマトペは日常会話で多用されるため、日本語を理解する上でとても重要である。以下は基本的なオノマトペの例である (三上 2006 が提示した 70 語。ここではすべてひらがなで書かれている)。オノマトペは同じ語を繰り返すもの (疊語, reduplicated word) が多い。

あっさり	いらいら	うっかり	うろうろ	うんざり	がたがた
がっかり	がやがや	からから	がんがん	きちんと	ぎっしり
きらきら	ぎりぎり	ぐっすり	ぐっと	くるくる	ぐるぐる
げらげら	こっそり	ごろごろ	ざあざあ	さっさと	さっと
ざっと	さっぱり	さらさら	しっかり	じっくり	じっと
じろじろ	すっかり	すっきり	すっと	すらすら	ずらり
そっくり	そっと	そろそろ	ぞろぞろ	たっぷり	ちゃんと
どきどき	どっと	どンドン	にこにこ	のろのろ	のんびり
ばたばた	はっきり	ぼったり	はっと	ぱっと	はらはら

ばらばら ぴかぴか びっくり ぴったり ふと ふうふう
 ぶらぶら ぶるぶる ペコペコ ぺらぺら ぼうっと ほっと
 ぼんやり めちゃくちゃ ゆっくり わくわく

たと あめ ふ ようす あらわ つぎ
 例えば、雨の降る様子を表すオノマトペには次のようなものがある。

あめ ふ はじ ようす
 ・雨がぼつぼつ／ばらばら降ってきた。(雨が降り始める様子)

いま ふ すこ ふ ようす
 ・今はまだばらばら降っているが、もうじきやむだろう。(少しまばらに降る様子)

あさ つめ あめ ふ しず こま あめ ふ ようす
 ・朝から冷たい雨がしとしと降っている。(静かに細かい雨が降る様子)

たいふう ちか あめ ふ はげ いきお ふ ようす
 ・台風が近づき、雨がざあざあ降っている。(激しく、勢いよく降る様子)

おんいんてき とくちよう せいおん むせいおん
 オノマトペには音韻的 (phonological) 特徴があり、清音 (無声音の k, s, t, h, p) は

ちい すく あらわ たい だくおん ゆうせい
 小さいものや少ないもの、ポジティブなイメージのものを表すのに対し、濁音 (有聲

おん おお おお あらわ
 音の g, z, d, b) は大きいものや多いもの、ネガティブなイメージのものを表すことが

おお さんしょう
 多い (Interesting facts も参照)。

いし さか ころ お
 ・石が {ころころ／ごろごろ} 坂を転がり落ちる。

たた
 ・ドアを {とんとん／どんどん} 叩く。

- ご飯を {^{はん}ぼろぼろ / ぼろぼろ} こぼす。
- 目が {^めきらきら / ぎらぎら} している。
- お肌を「^{はだ}じっとり」から「しっとり」へ。

オノマトペは副詞として使われるほか，以下のような用法がある。

① 述語として

「～する」

- ^す好きな人を見て^{ひと}どきどきする。

- ^{きゅうじつ}休日は家での^{いえ}んびりする。

「～だ」

- ^{かのじょ}彼女は英語が^{えいご}ぺらぺらだ。

- ^{あめ}雨に濡れて服が^ぬびしょびしょだ。

② 「の」を伴って名詞を修飾する

- ぴかぴかの^{ねんせい}1年生

- さらさらの^{かみ}髪

③ 名詞として

- いらいら^とが止まらない／収まらない^{おさ}。
- きらきらがいっぱい
- (複合名詞として) のろのろ^{うんでん}運転, わくわく^{がっこう}学校

オノマトペは表現効果として漫画でも多用される (ガシャン, バーン, し～ん)。

キーワード:

ふくし 副詞 しゅうしょく 修飾 じょうたいふくし 状態副詞 ぎおんご 擬音語 ぎたいご 擬態語 ていどふくし 程度副詞 ていど 程度 りょう 量 ひんど 頻度 こおうふくし 呼応副詞

オノマトペ じょうご 畳語 せいおん 清音 だくおん 濁音
